

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 3月 31日

事業所名 AEELL

	チェック項目	はい	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		
	2 職員の配置数は適切である	3	1		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	毎日朝終礼を実施している	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	年度末（2月に実施）	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	年度末（3月に公開）	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	月1回外部講師により実施	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	年2回面談や書面で行う	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	各行事ごとに担当を中心に立案している	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	持ち回りで順番に行っている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	長期休みなどにチャレンジメニューを設定	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	1		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	毎日朝礼で確認している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	毎日終礼を実施している	
	17 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		
	18 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	1		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	3	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	対象児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3		
	25	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	0	4		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	送迎時に伝達	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	4	相談を受けた場合に行う	
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時、説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	保護者からの要望を支援内容に追加している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3	職員情報は随時発信	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	タブレットなどを使用	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	定期的実施	マニュアルの内容を保護者へ周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	外部講師により実施	

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1		

放課後等デイサービスにおける自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 3月 31日

事業所名 AEILL

		チェック項目	はい	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3		
	2	職員の配置数は適切である	3	4		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	毎日朝終礼を実施している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	年度末（2月に実施）	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	年度末（3月に公開）	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	月1回外部講師により実施	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	年2回面談や書面で行う	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	各行事ごとに担当を中心に立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	持ち回りで順番に行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	長期休みなどにチャレンジメニューを設定	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎日朝礼で確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	毎日終礼を実施している	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	3		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	6	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	7	対象児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	6		
	25	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	0	7		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時に伝達	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	7	相談を受けた場合に行う	
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時、説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	保護者からの要望を支援内容に追加している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	5	職員情報は随時発信	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	タブレットなどを使用	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2	定期的実施	マニュアルの内容を保護者へ周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	外部講師により実施	

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		